

# ミナトホールディングス

証券コード 6862

## 2021年3月期 第3四半期決算説明資料

2021.2.10

# CONTENTS

- ① 2021年3月期 第3四半期連結決算ハイライト
- ② 2021年3月期 第3四半期連結決算概要
- ③ セグメント別売上高／営業利益
- ④ 2021年3月期 通期連結業績予想と今後の施策
- ⑤ ミナト・トピックス
- ⑥ appendix

1

# 2021年3月期 第3四半期連結決算ハイライト

# 2021年3月期 第3四半期連結決算ハイライト

## 連結 拡大

プリンスの業績をP/Lに取り込み開始

- ▶ 2020年8月に子会社化した株式会社プリンスの業績が3QよりP/Lでも追加され、売上高は前年同期比8.7%増

## 営業 損益

3Q単独で黒字に転換

- ▶ 累計は上期の落ち込みをカバーするに至っていないものの赤字幅は縮小。四半期純利益は投資有価証券売却益計上により大幅黒字

## 効率化 促進

グループの一体的な運営に向け、体制整備進む

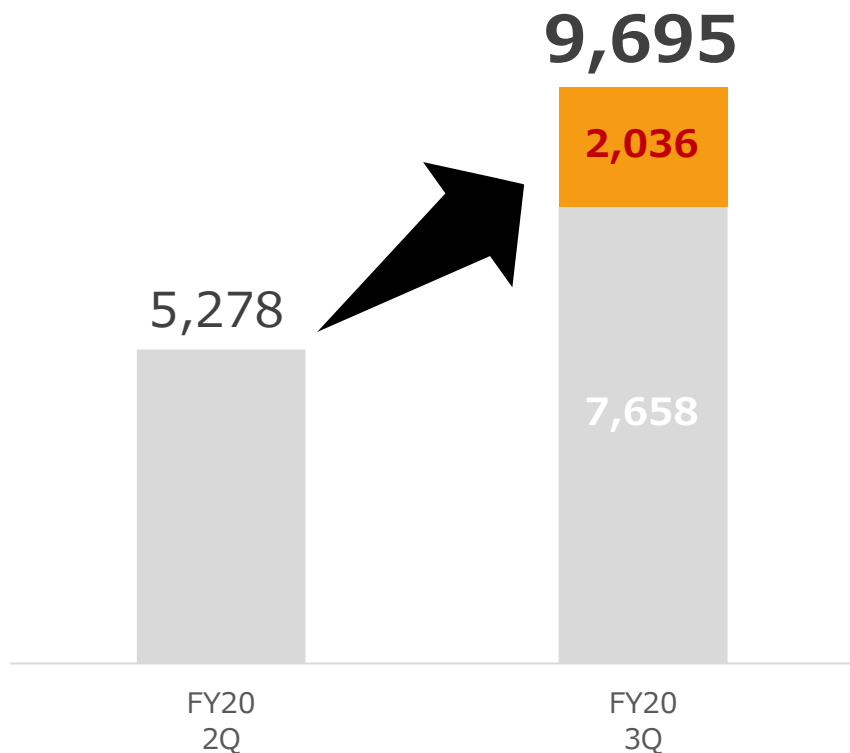
- ▶ 管理部門融合や資本業務提携先との戦略的オフィスシェア等、グループの人財や経営資源を活かしたシナジー効果創出に注力

# ハイライト① プリンストンの業績をP/Lに取り込み開始

「テレワークソリューション事業」「デジタルデバイス周辺機器事業」を3Qより追加し、収益構造に厚み

(単位：百万円)

■ 既存事業 ■ プリンストン事業



連結売上高推移 (累計)

## ▶ テレワークソリューション事業

テレビ・Web会議システムの関連機器販売、ライセンス販売等

## ▶ デジタルデバイス周辺機器事業

eスポーツ関連製品、メモリー、PC・スマホ等デジタルデバイスの周辺機器販売等

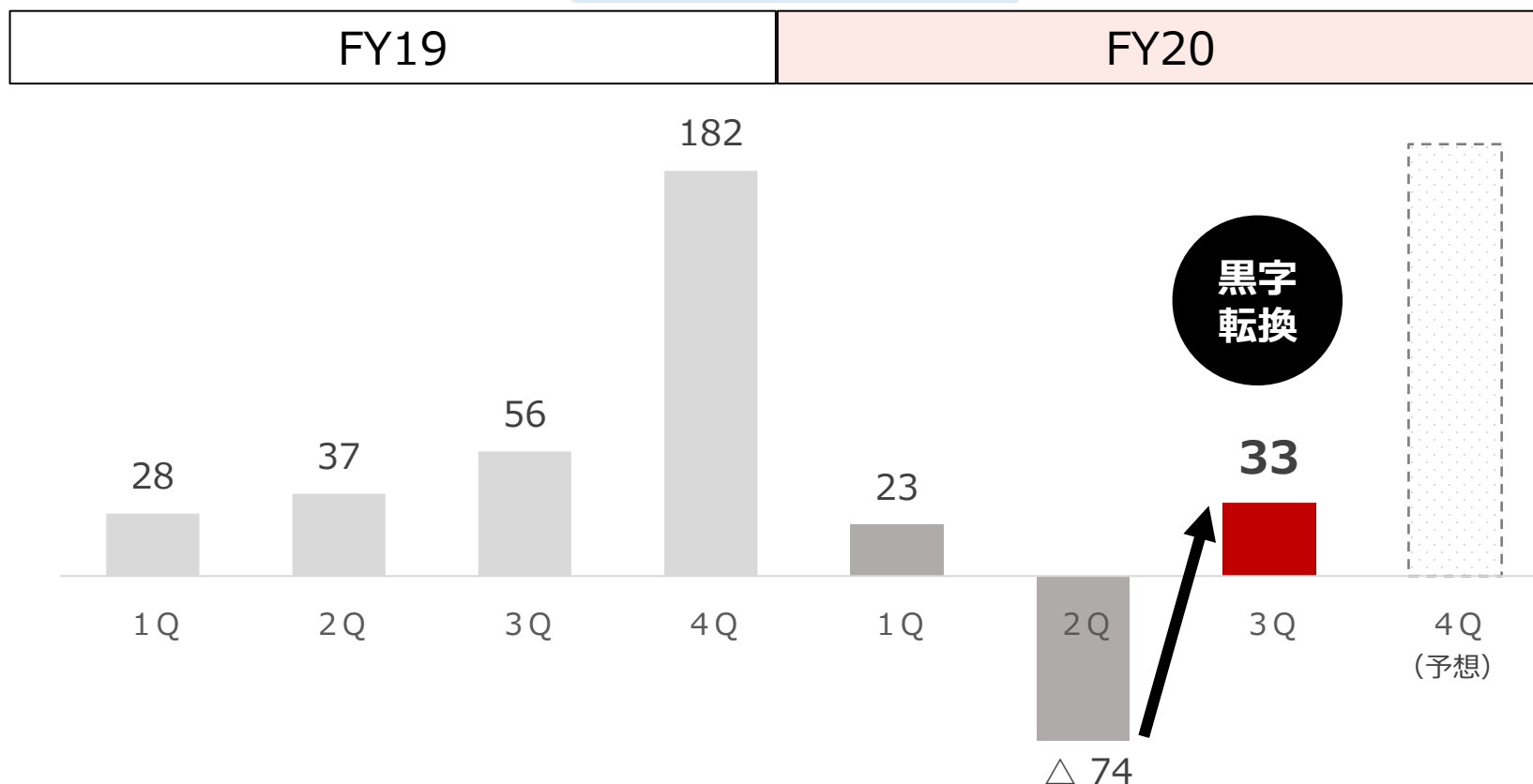


## ハイライト② 四半期ベースで営業利益が回復

プリントン業績の取り込みや既存事業の回復により、第3四半期単独では営業利益が黒字に転換

四半期営業利益推移

(単位：百万円)



# ハイライト③ グループ一体化に向け、体制整備進む

## ① 株式会社イーアイティー（EIT）、提携先との戦略的オフィスシェア開始



当社グループでシステム関連のソリューションビジネスを手掛けるEITは、2020年12月に、資本業務提携先である株式会社パイオニア・ソフト東京本社が入居するビルの同フロア事務所内に事務所を移転。

将来的な統合を視野に入れた営業協力をはじめ、業務全般における協業を強化することが狙いで、経営資産の合理化も見込む。

## ② プリンストン管理部門のミナトホールディングスとの融合を推進

2020年8月に子会社化した株式会社プリンストンの管理部門を、物理的にも機能的にも、当社管理部門へ融合する取り組みを推進中。

グループの一体化を図り、グループに貢献する人財を育成するとともに、業務の効率化・高度化を目指す。

# 2

## 2021年3月期 第3四半期連結決算概要



# 第3四半期 連結業績概要① / 累計 (2020年4月1日~2020年12月31日)

プリンスの業績取り込みで売上高が増加。コロナウイルス感染拡大の影響が残るものの回復の兆しあり、累計赤字幅は縮小

| (百万円)  | FY19<br>3Q | FY20<br>3Q   | 増減額  | 増減率<br>(%) |   |
|--------|------------|--------------|------|------------|---|
| 売上高    | 8,917      | <b>9,695</b> | 777  | 8.7        | <前年同期との差異><br>売上高<br>プリンストン 2,036百万円<br>メモリーモジュール事業他<br>△1,259百万円 |
| 売上総利益  | 1,108      | <b>1,457</b> | 348  | 31.5       |   |
| 販管費    | 985        | 1,475        | 489  | 49.6       | 減価償却費<br>+31百万円 (実額107百万円)  |
| 営業利益   | 122        | △17          | △140 | -          | のれん償却額<br>+6百万円 (実額34百万円)   |
| 営業外損益  | 12         | △63          | △76  | -          |   |
| 経常利益   | 135        | △81          | △217 | -          | 営業外損益<br>為替差損 △33百万円<br>持分法投資損益 △28百万円                            |
| 特別損益   | 6          | 288          | 281  | -          |   |
| 四半期純利益 | 112        | <b>169</b>   | 57   | 51.2       | 投資有価証券売却益<br>サイバーセキュリティクラウド株式<br>+286百万円                          |

## 第3四半期 連結業績概要② / 四半期 (2020年10月1日～2020年12月31日)

第3四半期単独で営業利益、経常利益ともに黒字転換。  
プリンスの業績取り込みで売上高は前年同期比でも増加。

| (百万円)  | FY19<br>3Q<br>(2019年10月1日～12月31日) | FY20<br>3Q<br>(2020年10月1日～12月31日) | 増減率<br>(%) |
|--------|-----------------------------------|-----------------------------------|------------|
| 売上高    | 3,174                             | <b>4,416</b>                      | 39.1       |
| 営業利益   | 56                                | <b>33</b>                         | △41.1      |
| 経常利益   | 69                                | <b>11</b>                         | △83.8      |
| 四半期純利益 | 56                                | <b>18</b>                         | △66.5      |

# 第3四半期 セグメント別業績（累計／営業利益）

（2020年4月1日～2020年12月31日）

テレワーク推進の動きに伴い、テレビ・Web会議システムの需要好調。既存事業はコロナ感染拡大の影響が残るも回復基調。

| 営業利益<br>(百万円)                   |     | FY19<br>3Q | FY20<br>3Q | 増減額         |
|---------------------------------|-----|------------|------------|-------------|
| メモリーモジュール事業                     |     | 393        | 289        | △103        |
| テレワークソリューション事業                  | NEW | —          | 41         | 41          |
| デジタルデバイス周辺機器事業                  | NEW | —          | 6          | 6           |
| デバイスプログラミング・<br>ディスプレイソリューション事業 |     | △18        | △77        | △58         |
| システム開発事業                        |     | 33         | 44         | 10          |
| その他事業                           |     | △5         | △5         | 0           |
| 全社費用                            |     | △279       | △318       | △38         |
| <b>営業利益</b>                     |     | <b>122</b> | <b>△17</b> | <b>△140</b> |

# 連結貸借対照表①

20/3末比では、プリントン子会社化により資産・負債ともに増加

(単位：百万円)

|             | 20/3末        | 20/12末        | 増減           |  |
|-------------|--------------|---------------|--------------|--|
| <b>資産の部</b> |              |               |              |  |
| 流動資産        | 6,654        | 9,725         | 3,071        |  |
| 現金及び預金      | 1,899        | 2,273         | 373          |  |
| 受取手形及び売掛金   | 2,172        | 3,220         | 1,048        | 受取手形及び売掛金<br>プリントン +1,371百万円<br>メモリーモジュール事業他 △323百万円               |
| 商品及び製品      | 1,039        | 2,131         | 1,092        | 商品及び製品<br>原材料及び貯蔵品<br>プリントン +1,410百万円<br>メモリーモジュール事業他 △654百万円      |
| 原材料及び貯蔵品    | 1,107        | 771           | △ 335        |  |
| 固定資産        | 1,829        | 2,529         | 700          |  |
| 有形固定資産      | 984          | 1,270         | 286          | 有形固定資産<br>プリントン +107百万円<br>デバイスプログラミング事業+194百万円                    |
| 無形固定資産      | 71           | 306           | 235          |  |
| （うち、のれん     | 37           | 256           | 218)         | 無形固定資産<br>プリントンのれん +252百万円<br>のれん償却 △34百万円                         |
| 投資その他の資産    | 774          | 952           | 178          |  |
| （うち、投資有価証券  | 491          | 523           | 31)          |  |
| （うち、関係会社株式  | 5            | —             | △ 5)         | 投資その他の資産<br>サイバーセキュリティクラウド株式時価評<br>価等 △52百万円<br>パイオニア・ソフト株式 +83百万円 |
| 繰延資産        | 1            | 0             | △ 0          |  |
| <b>資産合計</b> | <b>8,485</b> | <b>12,256</b> | <b>3,770</b> |  |

## 連結貸借対照表②

プリンスの連結により、自己資本比率は26.1%と、  
20/3末比△8.2ポイント低下

(単位：百万円)

|                  | 20/3末        | 20/12末        | 増減           |
|------------------|--------------|---------------|--------------|
| <b>負債の部</b>      |              |               |              |
| 流動負債             | 4,104        | 6,598         | 2,493        |
| 支払手形及び買掛金        | 1,102        | 1,365         | 263          |
| 短期借入金            | 2,440        | 3,145         | 705          |
| 1年以内返済長期借入金      | 309          | 652           | 342          |
| 固定負債             | 1,380        | 2,357         | 984          |
| 長期借入金            | 1,071        | 1,939         | 867          |
| <b>負債合計</b>      | <b>5,485</b> | <b>8,955</b>  | <b>3,081</b> |
| <b>純資産の部</b>     |              |               |              |
| 株主資本             | 2,771        | 3,081         | 309          |
| その他の包括利益累計額      | 138          | 122           | △ 16         |
| (うち、その他有価証券評価差額) | 216          | 201           | △ 15)        |
| 新株予約権            | 89           | 88            | △ 1          |
| 非支配株主持分          | —            | 8             | 8            |
| <b>純資産合計</b>     | <b>3,000</b> | <b>3,300</b>  | <b>300</b>   |
| <b>負債純資産 合計</b>  | <b>8,485</b> | <b>12,256</b> | <b>3,770</b> |

短期借入金  
ホールディングス +700百万円  
プリンス +5百万円

長期借入金  
プリンス +441百万円  
ホールディングス +830百万円  
サンマックス △61百万円

株主資本  
第三者割当増資 +130百万円  
新株予約権行使 +10百万円  
当期純利益 +169百万円

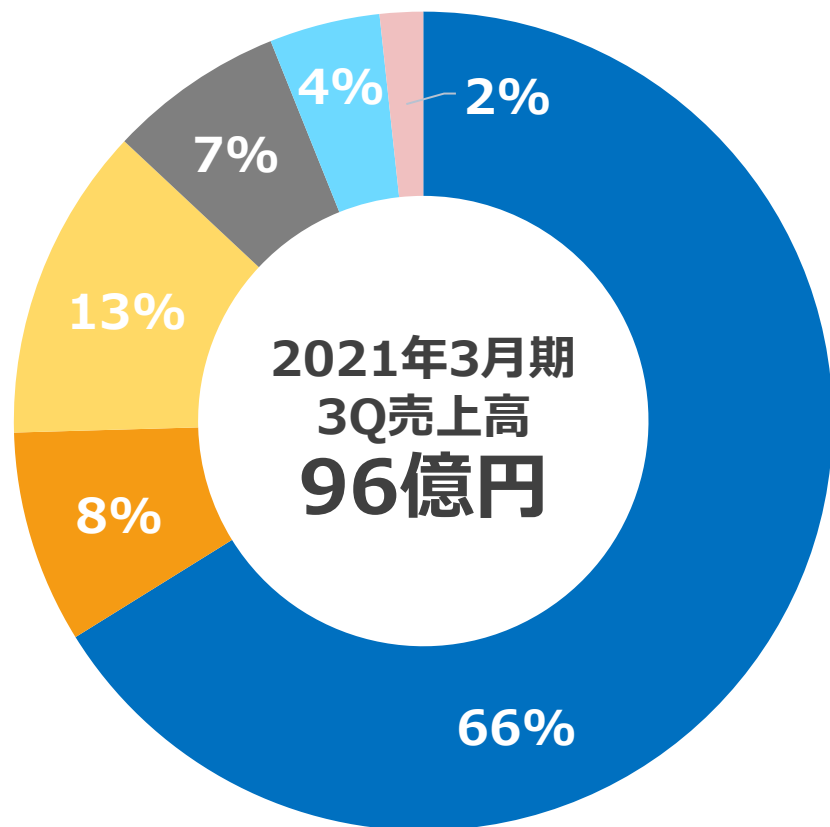
有価証券評価差額金  
サイバーセキュリティクラウド株式他  
△15百万円

# 3

## セグメント別売上高／営業利益

# セグメント別事業の業績

メモリーモジュールが全体を牽引、新設の2セグメントも存在感示す



## セグメント別売上高

(単位：百万円)

|                             |       |
|-----------------------------|-------|
| メモリーモジュール                   | 6,465 |
| <sup>NEW</sup> テレワークソリューション | 821   |
| <sup>NEW</sup> デジタルデバイス周辺機器 | 1,214 |
| デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション   | 679   |
| システム開発                      | 427   |
| その他                         | 167   |

# メモリーモジュール事業の業績

売上高

6,465百万円

前年同期比

13.7%



営業利益

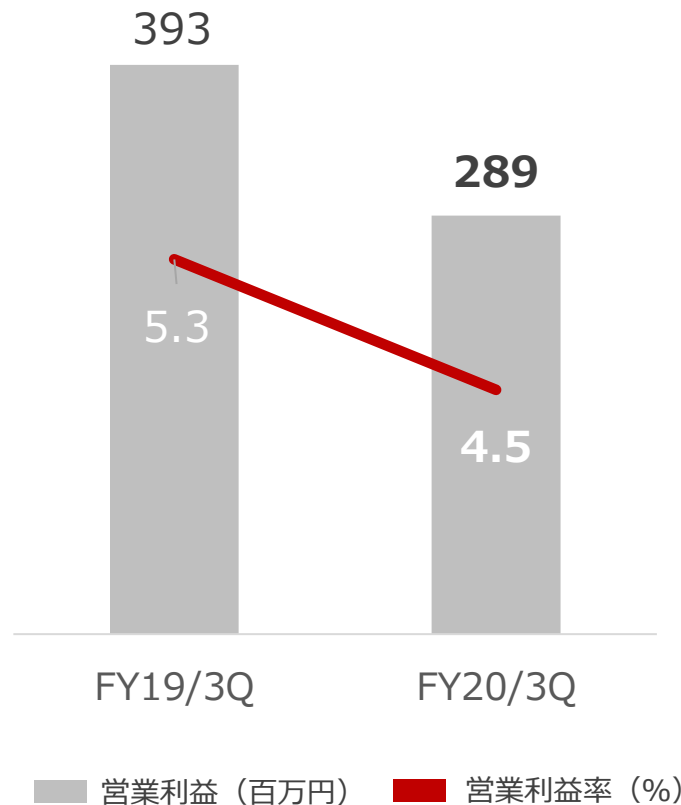
289百万円

前年同期比

26.4%



- 新型スマートフォンや5G(次世代通信規格)関連の引き合いが増加していることや、データセンター向け高性能サーバーや新型ゲーム機等の分野においても需要が回復していること等DRAM、NAND価格は下げ止まり、市況は回復の兆しも。
- テレワーク関連で、個人PC用メモリーモジュールの需要は堅調に推移。一方、産業用途向けメモリーモジュールにおいて、新型コロナウイルス感染拡大の影響による需要減を要因とした顧客企業の在庫調整や減産、投資遅延が発生したこと等の影響を受け、減収が続くも、一部、需要に持ち直しの動きもある。
- 新規顧客開拓やメモリー関連新製品の拡販活動も注力。





# テレワークソリューション事業の業績



売上高

821百万円

前年同期比

—



営業利益

41百万円

前年同期比

—

- テレビ・Web会議システムは従来の対面での業務に代わる新たな働き方を実現するツールとして、大きな注目を集めており、関連の売上高は前年比30%超の成長。
- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、企業におけるテレワーク推進の動きが加速していることから、「Cisco Webex」や「BlueJeans」、「Zoom」等のライセンス販売が好調に推移。
- ウイズコロナ、アフターコロナを見据え、より快適なビジネスコミュニケーションシステムの導入を求めるお客様が増えていることを受け、据え置きタイプのデジタル会議専用端末の需要も伸長。

41



|       |       |
|-------|-------|
| 営業利益  | 41百万円 |
| 営業利益率 | 5.1%  |

FY20/3Q

# デジタルデバイス周辺機器事業の業績

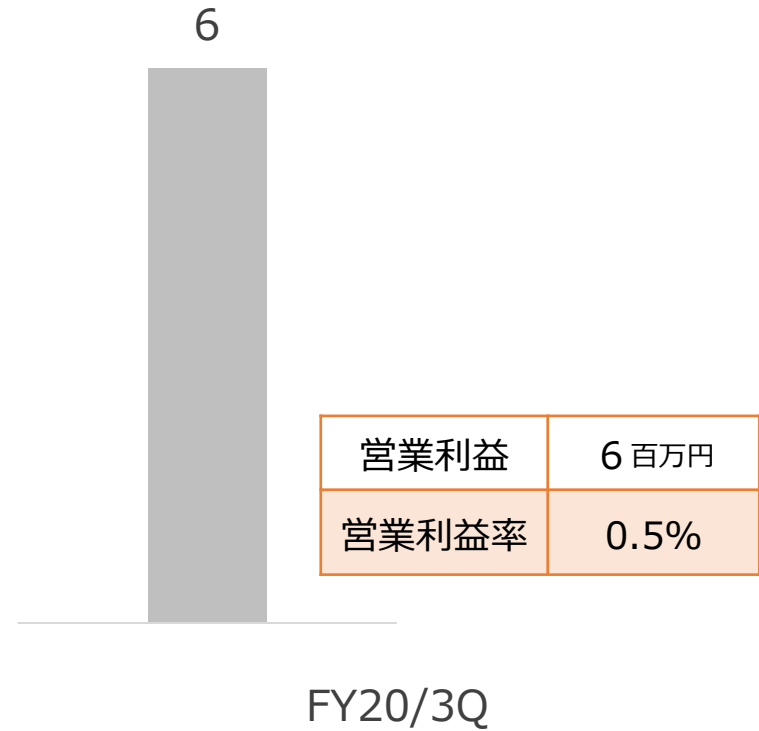


売上高 **1,214**百万円 前年同期比 **—**

営業利益 **6**百万円 前年同期比 **—**

- GIGAスクール（※）に関連し、端末のみの整備では授業が進まないとして、周辺機器の購入を検討している自治体をメインターゲットに営業を展開。タブレット端末用のタッチペンや耐衝撃ケース、プリントや教材を投影するドキュメントカメラ等の周辺機器の受注が好調に推移。
- eスポーツ関連では、ECサイトにおいて実施したセール販売等が好調。ゲーミング用ヘッドセットや液晶ディスプレイ等の販売が堅調に推移。

※ **GIGAスクール構想**とは・・・  
文部科学省が進めている、義務教育を受ける児童生徒向けにひとり1台の端末と高速通信環境を整備する構想のこと。



# デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業の業績

売上高

679百万円

前年同期比

22.6%



営業利益

△77百万円

前年同期比

△58百万円

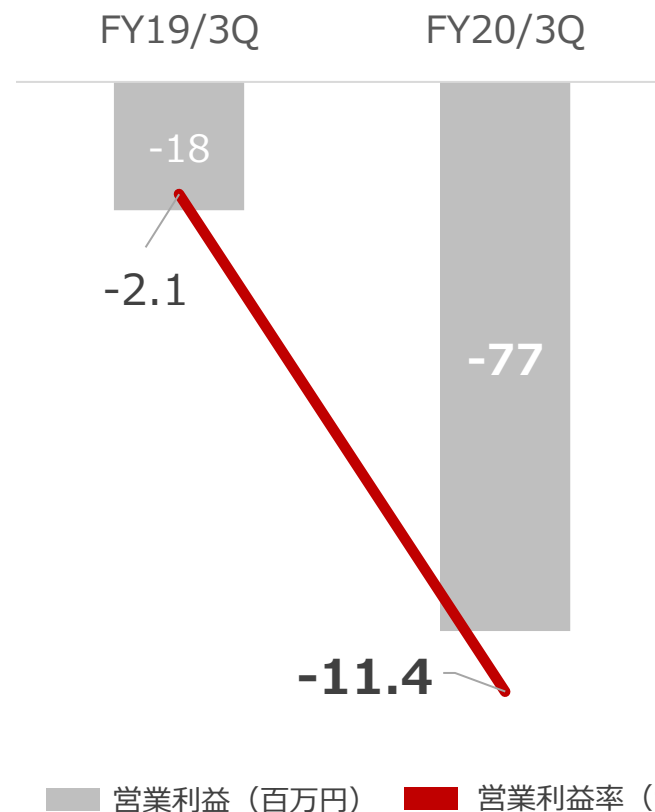


## デバイスプログラミング事業

- プログラム本体及び変換アダプタ関連は、主要顧客の工場稼働が回復しきれておらず、利益率の高い変換アダプタの需要も伸び悩む。
- ROM書込みサービスにおける設備投資の実施により、費用負担が先行。

## ディスプレイソリューション事業

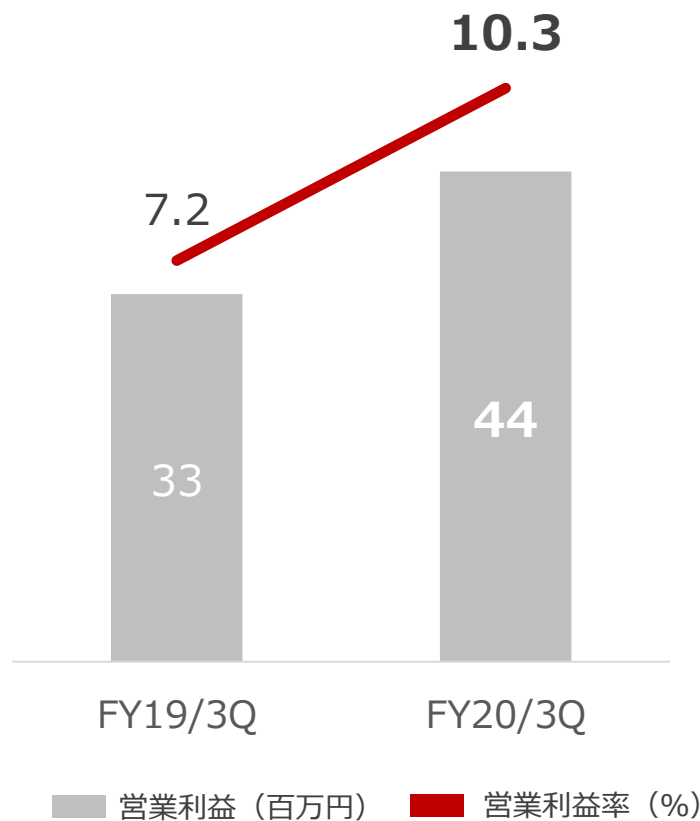
- 海外AMT向けタッチパネルの受注が低調に推移したこと等から減収となるも、新製品等の投入を進める。



# システム開発事業の業績



- 技術支援型（人材派遣）、受託開発案件とともに顧客企業のプロジェクト縮小等の要因により稼働時間が短縮。受注及び受託件数の減少とともに売上減少。
- 従業員の約7割を在宅勤務として対応していることから、販管費が減少。
- 2020年8月に資本業務提携した株式会社パイオニア・ソフトとの協業により、IT技術者や開発スキルの層に厚みを持たせ、戦略的な事業展開を目指す。



# その他事業の業績

売上高

167百万円

前年同期比

57.1%



営業利益

△5百万円

前年同期比

0.5百万円



## Webサイト構築・コンサルティング事業

- 営業強化により売上高・利益ともに増加。

## インテリジェント・ステレオカメラ事業

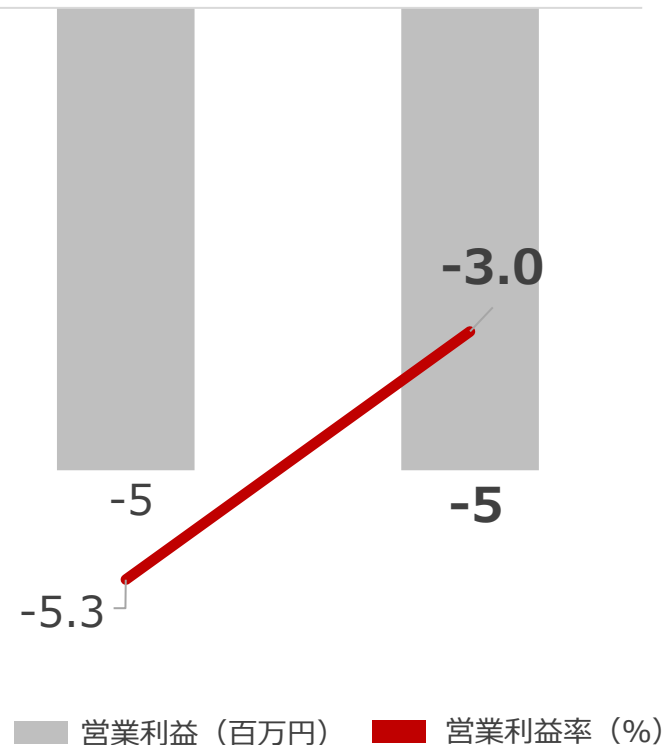
- 複数の大手企業との実証実験進行中。開発費計上により、営業損失が継続。新型コロナウイルス感染拡大による顧客企業の開発計画見直し等の影響により、当初今期中を想定していた商用機出荷スケジュールは来期以降に持ち越し。

## モバイルアクセサリ事業

- 自社製品のリリースの拡販が堅調に推移。新規顧客開拓も積極的に推進。

FY19/3Q

FY20/3Q



# 4

## 2021年3月期 通期連結業績予想と 今後の施策

# 通期連結業績予想及び配当予想

業績予想、配当予想ともに、8月公表数値からの変更はない

## ■ 2021年3月期 通期連結業績予想

(単位：百万円)

|                             | 売上高           | 営業利益       | 経常利益       | 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 |
|-----------------------------|---------------|------------|------------|---------------------|
| 2021年3月期                    | <b>15,000</b> | <b>180</b> | <b>120</b> | <b>350</b>          |
| <ご参考><br>前期実績<br>(2020年3月期) | 12,077        | 305        | 301        | 279                 |

## ■ 2021年3月期 配当予想

| 第2四半期 | 期 末      | 合 計      |
|-------|----------|----------|
| —     | 4円（前期同等） | 4円（前期同等） |

# 2020年度通期業績見通しと施策

メモリモジュールの回復とともに、テレビ・Web会議システムやGIGAスクール関連製品の伸びを想定

メモリー  
モジュール

- 顧客企業の需要回復、稼働状況の改善に合わせて、メモリーモジュールその他半導体関連製品も回復する見込み。

テレワーク

- テレビ・Web会議システムの関連機器、ライセンスへの需要は引き続き高い。

デジタル  
デバイス

- 「GIGAスクール」による教育現場でのPC・タブレット増加に合わせて、PC・タブレット周辺製品の引き合いが好調。

デバイス  
プログラミング

- デバイスプログラマやタッチパネルの回復は来期以降となる見通し。
- ROM書込みサービスにおける新規ビジネスは稼働を開始し、第4四半期には一定の利益計上を見込む。

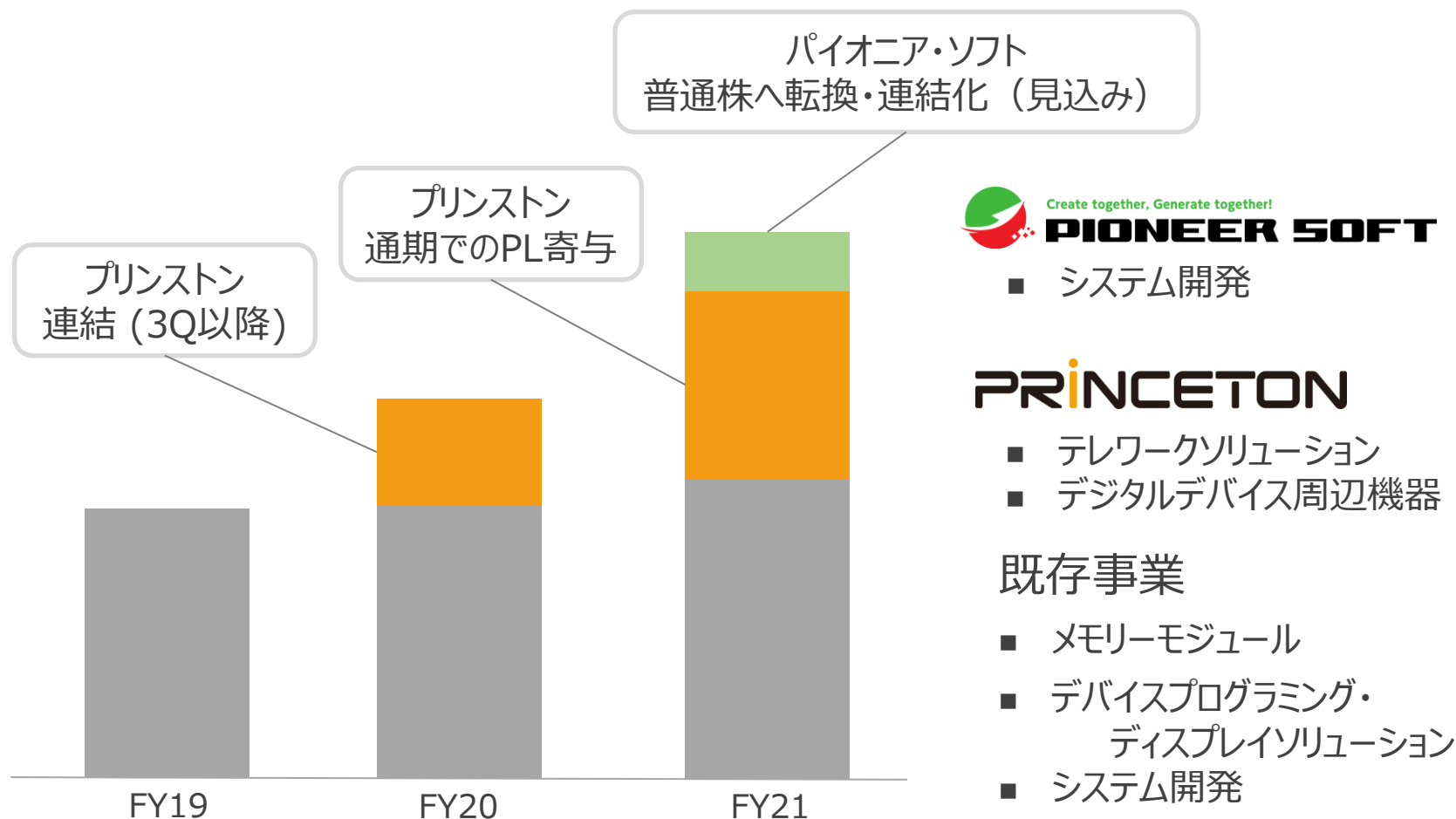
システム開発

- パイオニア・ソフトとの、営業部門および管理部門における一体運営の効果が出始める見込み。



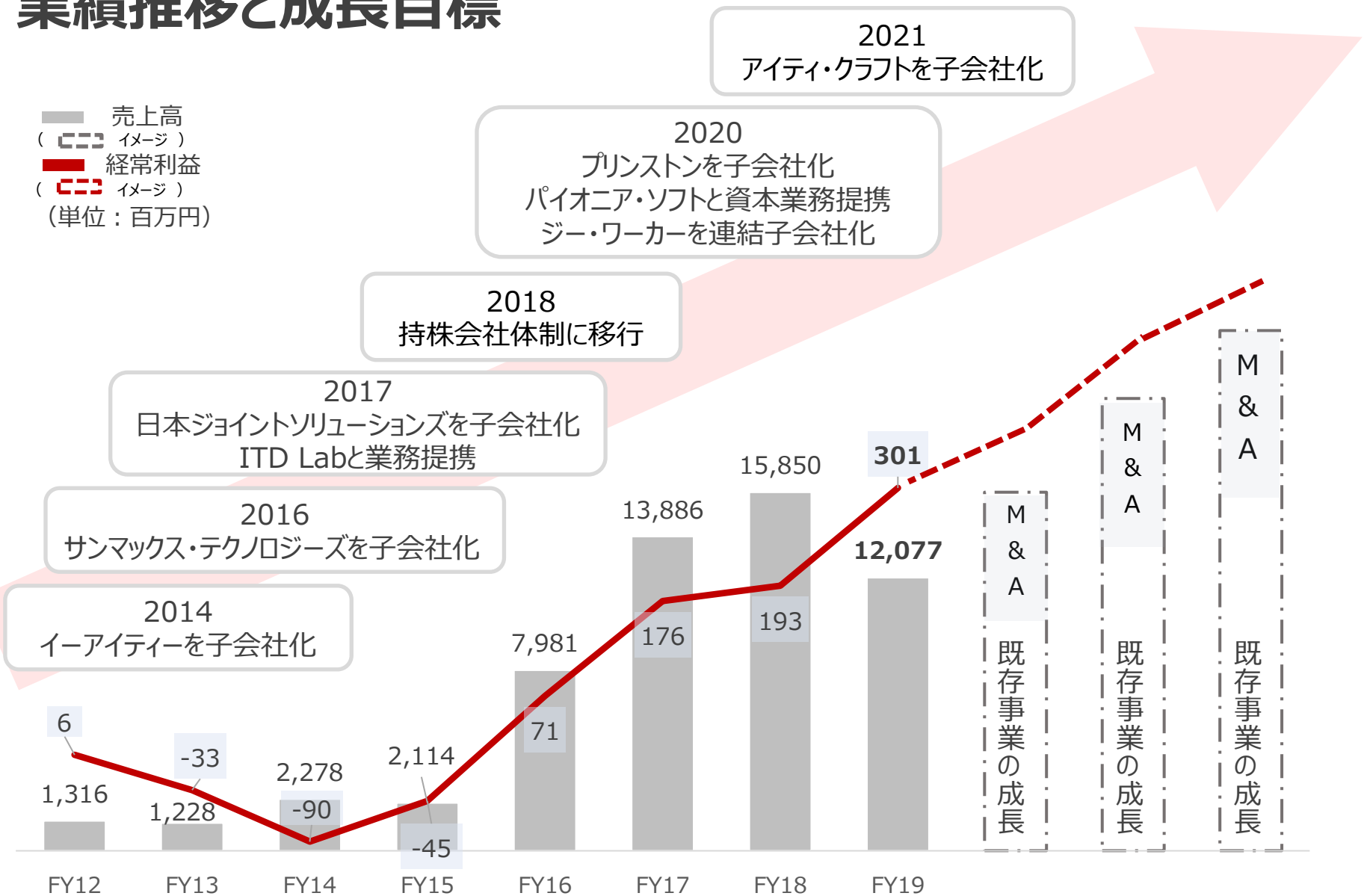
# グループの持続的成長

■ プリンストンは2021年度から通期で業績を取り込み、さらにパイオニア・ソフトの連結化も視野



# 業績推移と成長目標

売上高  
 (  イメージ )  
 経常利益  
 (  イメージ )  
 (単位：百万円)



5

ミナト・トピックス

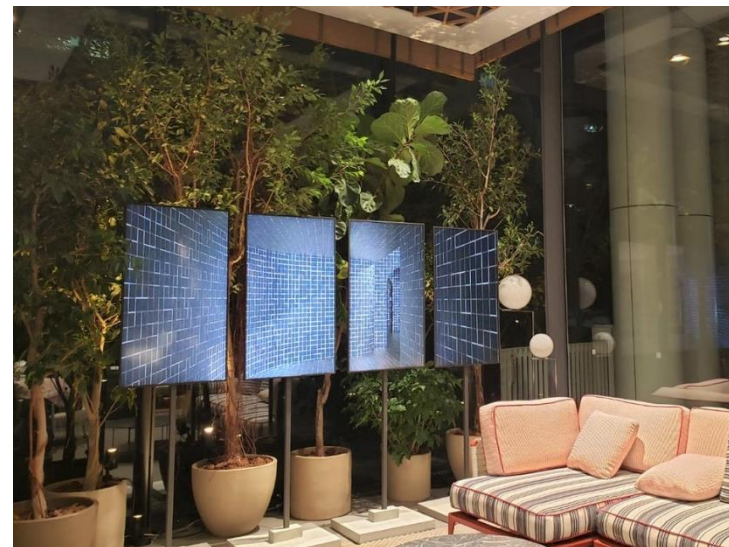
# 超薄型・美サイネージ「WiCanvas」、需要好調

## ■ WiCanvas とは ■

厚さわずか約15ミリ！液晶・メディアプレーヤー・Wi-Fi受信モジュールを内蔵したクラウド配信型のデジタルサイネージでマルチモニターとしても活用可能。Wi-Fi環境下では電源ケーブル1本のみで使用でき、背面もスタイリッシュな美サイネージです。取り扱いにはミナト・アドバンス・テクノロジー株式会社。

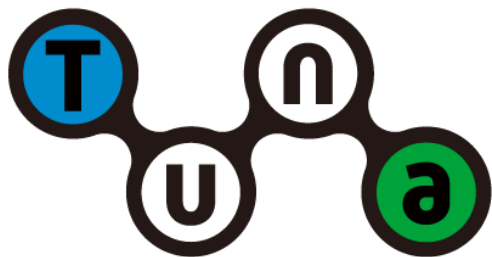


2020年12月、埼玉県上尾市の大型商業施設「イオンモール上尾」のオープンに合わせ、20台を納入。意匠性に加え、複雑な工事が不要で設置が容易であること等が評価。



2020年11月に行われたデザインとアートの祭典「DESIGNART TOKYO(デザイナー・トーキョー) 2020」にて、アート作品の展示デバイスとして協力。

# 自社新製品続々！ジー・ワーカー



ヒト、モノ、コトを感動でつなぐ

## ジー・ワーカーオリジナルブランド【Tuna（ツナ）】

2020年4月にミナトグループに参画したジー・ワーカー。  
人と人を感動でTuna（ツナ）きたい。  
人と製品を感動でTuna（ツナ）きたい。  
そんな思いで日々ユニークな製品作りに取り組んでいます。

<https://gwk.co.jp/business/brand/>



スタンド付き充電&データ転送ケーブル



しなやか耐久充電&データ転送ケーブル

お手持ちのスマートフォン等で  
こちらのQRコードを  
読み取ってください。



製品詳細はこちらから！



# appendix

# 会社概要

(2021.2現在)

## ミナトホールディングス株式会社

[本社] 〒103-0001  
東京都中央区日本橋小伝馬町7-2  
古賀オールビル6階

[代表者] 代表取締役会長兼社長 若山 健彦

[設立年月日] 1956年12月17日

[上場証券取引所] 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)



資本金 1,062,673千円

拠点 3か国9拠点

人数 従業員数370名 (連結)

# グループ会社

(2021.2現在)



サンマックス・テクノロジーズ株式会社  
メモリーモジュール事業

PRINCETON

株式会社プリンストン  
テレワークソリューション事業  
デジタルデバイス周辺機器事業

MINATO

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ株式会社  
デバイスプログラミング・  
ディスプレイソリューション事業  
インテリジェント・ステレオカメラ事業

G.WORKER

ジー・ワーカー株式会社  
モバイルアクセサリ事業

eIT

株式会社イーアイティー  
システム開発事業



Japan Joint Solutions

日本ジョイントソリューションズ株式会社  
ウェブサイト構築事業  
広告の制作プロデュース事業

(海外)

港御（上海）  
信息技术有限公司  
デバイスプログラマ

MFP  
MINATO FINANCIAL PARTNERS

ミナト・フィナンシャル・パートナーズ株式会社  
財務コンサルティング事業  
太陽光発電事業

Create together. Generate together!  
PIONEER SOFT

株式会社パイオニア・ソフト  
(資本業務提携先)  
システム開発事業  
イーアイティーとの経営統合を目指す

ITCraft

株式会社アイティ・クラフト  
システム構築・SE派遣事業

港御（香港）  
有限公司  
デバイスプログラマ  
メモリーモジュール



## サンマックス・テクノロジーズ株式会社

- 産業機器用途向けコンピューター記憶装置（DIMM）の設計・製造・販売ノウハウを持ち、大手電機メーカーや半導体デバイス商社等へ販売
- PC、サーバー、MFP(多機能デジタル複合機)、POS、ATMなど用途は多岐にわたり、全数検査による高品質の製品供給が強み

### DIMM（Dual Inline Memory Module）

複数のDRAMチップを基盤上に搭載したメモリーモジュールのこと。コンピューターのメインメモリとして利用。サンマックスはDIMMの主要調達部材であるDRAMの調達に優れており、DIMMの開発・製造・販売までを一貫して手掛けている。



### SSD（Solid State Drive）



## 株式会社プリンストン

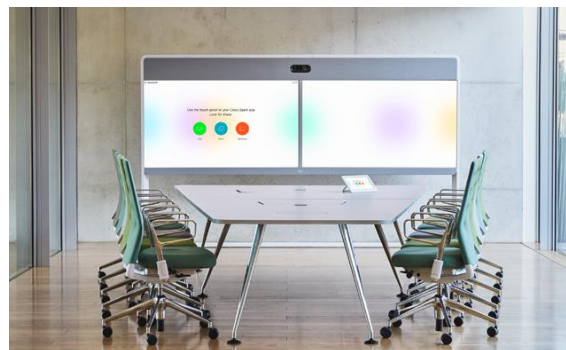
- 2020年8月に100%子会社化、3Qより業績取り込みのため新設セグメント
- テレワークの推進に欠かせないツールである、テレビ・Web会議等のデジタル会議システム関連機器の販売及び保守サービスやライセンス販売等、ソリューションサービスを展開

米国Poly社及びシスコシステムズ社の国内有力パートナーとして長年にわたり構築してきた販売・保守サポート体制が大きな強み

クラウドサービスとして、各ブランドライセンスも取り扱い



ビデオ会議用ハードウェア (Poly)



大会議室用オールインワン会議システム (Cisco)

## BlueJeans

  
CISCO  
Partner  
Premier Certified

Cisco Webex

## zoom

## 株式会社プリンストン

- 3Qより業績取り込みのため新設セグメント
- eスポーツ関連製品、メモリー、PCやスマホ等デジタルデバイスの周辺機器販売等を展開
- 自社ECサイト「プリンストンダイレクト」( <https://www.princeton-direct.jp/>) の運営

### eスポーツ市場向けのゲーミング関連



左：ゲームの世界に没入できる高スペックゲーミングヘッドセット  
右：プリンストンオリジナルゲーミングブランド「ULTRA PLUS」

### 「GIGAスクール」向けのツール



左：端末を落下や衝撃から守る耐衝撃ケース  
右：画面に直接ペンで記入できるiPad専用充電式タッチペン

# デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ株式会社

**MINATO**

ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ

- 1956年設立の電子機器製造メーカー。
- デバイスプログラマや自動プログラミングシステムの設計・販売のほか、ROMやCPUへのプログラム書込み事業（ROM書込みサービス）、タッチパネルやデジタルサイネージ関連機器の企画・設計・販売を手掛ける。

## デバイスプログラマ

ROMやCPU等のデバイスにデータを書込むための装置。MATは1973年に国産初のデバイスプログラマを開発したこの分野のパイオニア。



## ROM書込みサービス

デバイスプログラマを利用し、デバイスへの書込みサービスを展開。「自動プログラミングシステム」では大量の書込みを自動で行うことができ、大規模受注にも対応可能。

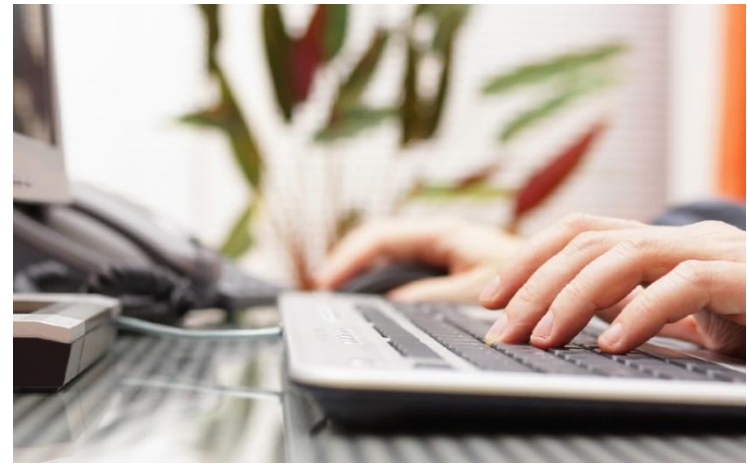


# システム開発事業



## 株式会社イーアイティー

- システムエンジニアリングサービス  
(WEBシステム・汎用系システム・ERPの開発、データベース・ネットワークの構築等)
- 各種システムの一括受託
- 2020年8月に株式会社パイオニア・ソフトと資本業務提携を行い、同社の優先株式を取得。営業面を中心として、両社での協業を推進中。



# その他事業

## 成長分野で積極的に事業推進

日本ジョイント  
ソリューションズ(株)



ウェブサイトの構築や広告の制作プロデュース  
セールスプロモーション、マーケティングのコンサルティング業務

ミナト・アドバンスト・  
テクノロジーズ (株)



インテリジェント・ステレオカメラ事業  
環境エレクトロニクス事業（LED照明の受注販売など）

ミナト・フィナンシャル・  
パートナーズ (株)



財務コンサルティング、ファイナンスアドバイザー関連業務  
太陽光発電事業（福島、群馬にて売電中）

ジー・ワーカー(株)

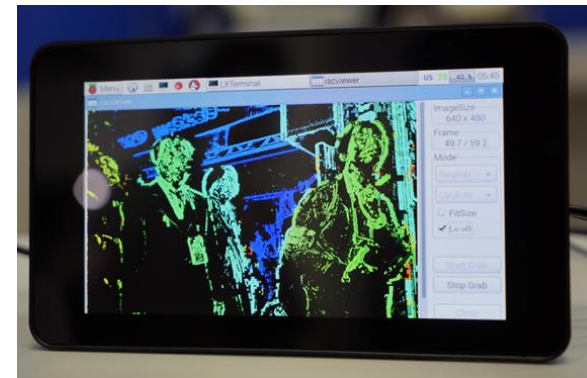


メモリー、モバイルアクセサリ等の販売

# その他事業（インテリジェント・ステレオカメラ）

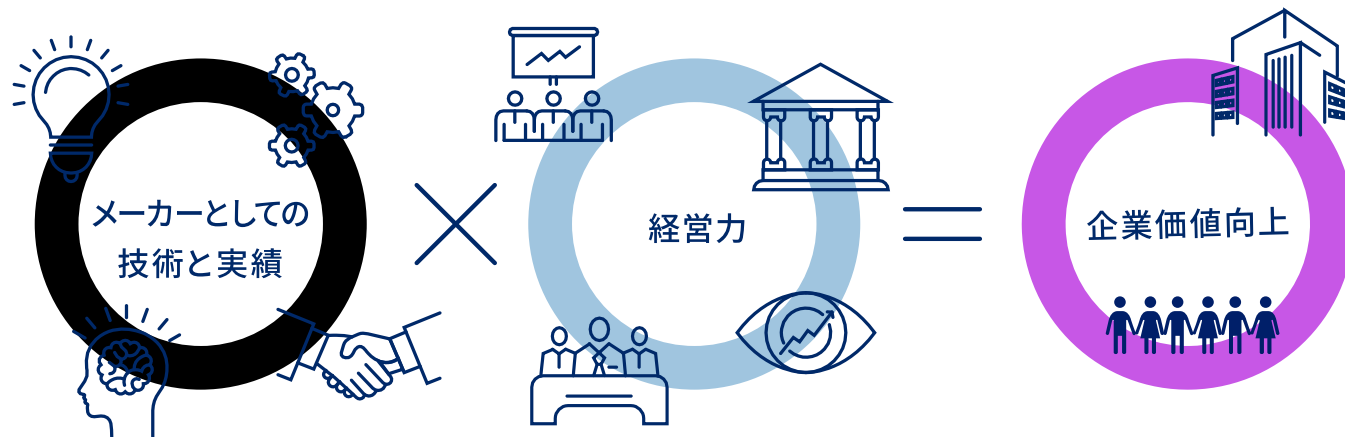
## ■ ミナト・アドバンスド・テクノロジーズが開発推進するカメラセンサー

- 業務提携先の東工大発ベンチャーITD Lab株式会社と連携した、測距、形状認識を高速で行う高性能2眼カメラセンサー
- 無軌道搬送機（AGV）等の自動運転、障害物センサー、産業用ロボット等の多分野での活用が期待。顧客のニーズに合わせた新型機の開発も進行中
- 株式会社アラヤとの連携により、ディープラーニング技術も導入



インテリジェント・ステレオカメラ 「ISC-100VM」

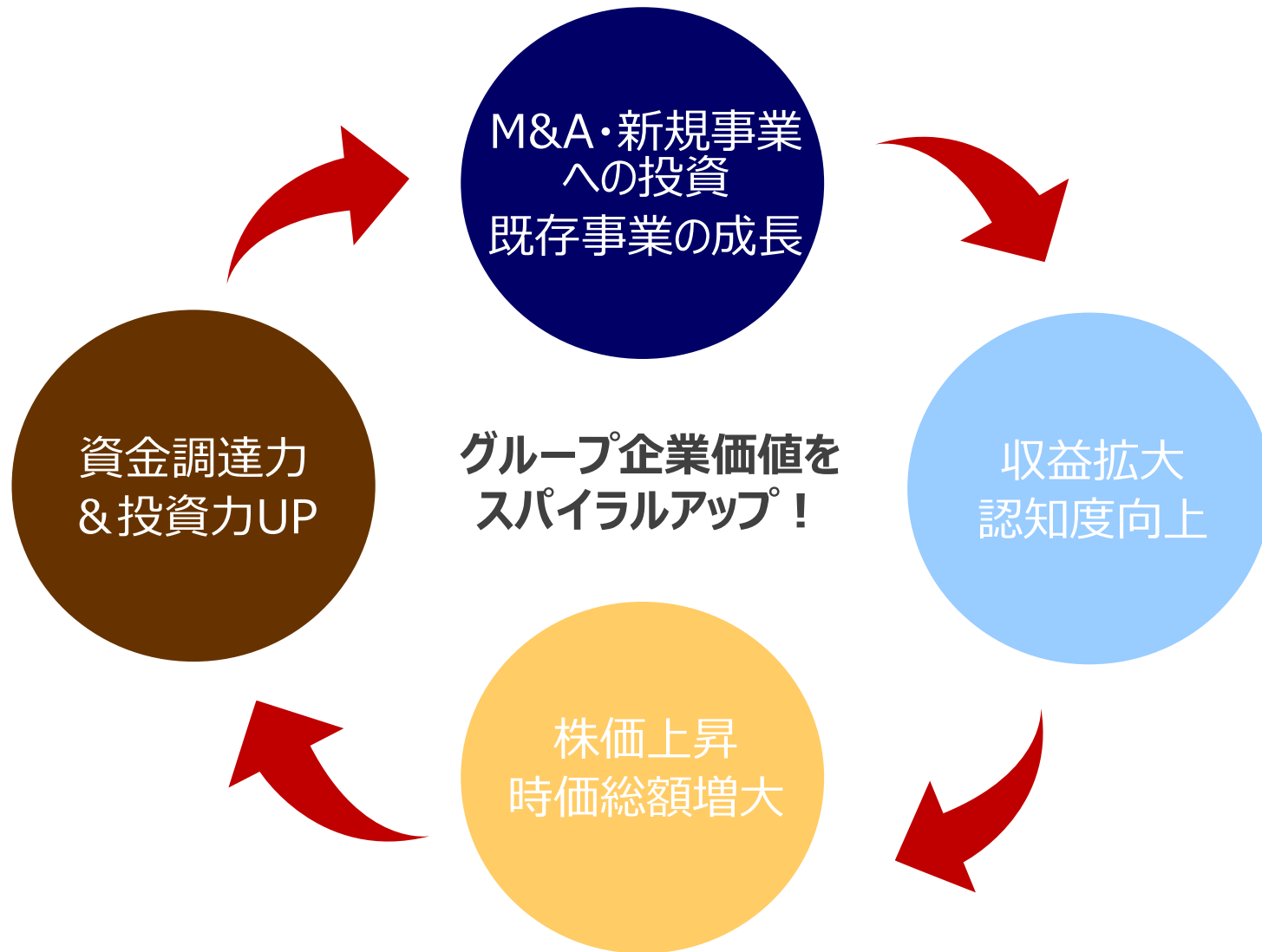
# 今後の成長戦略



- M&Aや資本業務提携、ベンチャービジネスの発掘等を積極展開し、事業規模を拡大
- 海外展開及び新規事業に関する子会社設立等を通じて、新たな分野への挑戦を継続
- メーカーとしての技術・実績とファイナンス実行力を柱とする経営力により、企業価値の向上を目指す



# グループ企業価値の拡大サイクル



# ミナトホールディングス株式会社

JASDAQスタンダード：6862

<https://www.minato.co.jp/>

IRに関するお問い合わせ・各種取材のお申込みは、  
広報マーケティンググループまでお願いいたします。

TEL:03-5847-2030 MAIL:mnt\_ir@minato.co.jp

## 免責事項

- 本資料は、ミナトホールディングス株式会社並びにその子会社及び関連会社（以下合わせて「当社」又は「当社グループ」）に関する情報を提供するものであり、いかなる投資勧誘を構成するものではなく、またいかなる投資勧誘とみなされるものでもありません。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に公正妥当と認められている会計原則に従って表示されています。
- 過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社の将来の実績の予測又は予想を示すものではなく、またその推定を示すものでもありません。
- 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた当社グループの現在の前提及び見解に基づくものであり、将来の業績の保証を意味するものではありません。また当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

# MINATO

テクノロジー・イノベーションで明日を創る。

